

キャラクター名
鶴喰 ヒバナ (つるばみ ひばな)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ サラマンダー		ワークス	セカンダリア	カヴァー	FHエージェント
	オプション		年齢	22	性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	35	%
出自	天涯孤独	経験	大失態	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	1		0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	5r	3	9		仁刃がにオトアクションで装備可能 ガード値-5
80↑	白兵	9r	3	30+2D		ガード不可 装甲無視
100↑	白兵	10r	3	37+2D		ガード不可 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
怨念の呪石	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
PC2	P 庇護	N 脅威		
全て窓に(マリオネッター)	P 有為	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: c値-Lv (下限7)								
炎神の怒り	3	3	Xジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果: ダイス+ [Lv+1]								
煉獄魔神	3	3	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果: 攻撃力+ [Lv *3]								
バリアクラッカー	2	4	Xジャー	武器	-	対決	80↑	
効果: ガード不可 装甲無視								
ハードワイヤード	1	基+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果: <アームブレード> 選択								
クレイジードライブ	3	5	Xジャー	-	-	-	80↑	
効果: 攻撃力+ [Lv *4] 暴走状態のみ使用可能								
タッピング&オンエア	★	1						
効果:								
不燃体	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 俺
二人称: 貴方、君
PC2に対してのみ名前呼び捨て、口調優しめ

▼生い立ち
生まれた時からすでにレネゲイドウイルスに感染しており、その影響が両親は出産数年後に病死。その後チルドレンとしてUGNに引き取られる。UGNの施設では正しいレネゲイドの使い方をすでに活躍しているオーヴァードの話を聞いてからは、幼い頃に戦隊モノが好きだったことから「自分も将来人を守るオーヴァードになる!」と決意する。

しかし、実践訓練を経た頃から対抗種の影響が強まり、自分の周りにいた仲間たちは徐々に体調を崩すようになった。暴走状態で訓練中に戦ったオーヴァードは目の前で血を吐いて死んだ。
自責の念に囚われ、居場所がなくなったヒバナは寮の自室に引きこもるようになる。

~~~~~

▼PC2との出会い  
研究棟でチルドレンが暴走しているらしい。よほど強力なオーヴァードなのか、止めに入った職員たちもいい方で無力化、死人すらでている。誰か殺してでもいいからアイツを止める、と怒号や悲鳴が行き交う中、自然と体が動いていた。  
自分なら奴を止めてヒーローになれる、という自信があった気もするし、自分より強力な存在に殺して欲しかった気持ちもある。  
結果は前者だった。  
暴走していた少年の名前は十隠律といって、目を見て、少し対話をしたら落ち着いてくれた。彼の能力も対抗種によって弱まっているようだった。  
救出後、十隠律の処分を決める会議が開かれた。勿論凍結保存や処分などの過激な意見が出たが、研究者とお偉い方に何度も頭を下げて自分とコンビを組んでの経過観察に落ち着いた。